

令和2年度に向けた出納局の施策の基本方針

令和元年 11 月定例会（付託）
総務委員会資料
出納局

～厳正かつ効率的な出納業務の追求と働き方改革の実践～

I RPA 等革新技术を活用した スマート会計の実装

これまでの取組み

- ・ 会計事務自動化実証事業で業務効率化を実証
 - ・ 令和元年度は会計事務において RPA を本格導入
 - ・ AI-OCR による効率化・実用化を実証中
 - ・ 大規模災害時の被災者支援資金相談機能を強化
- 会計事務のスマート化・災害対応体制の整備！**

令和2年度

スマート会計の進化・拡大及び災害対応力強化

- ・ RPA の全庁利用の拡大・専門的人材の育成
- ・ AI-OCR の本格導入による更なる業務効率化の推進
- ・ 大規模災害時資金安定供給体制強化・取組促進

スマート会計の進化・拡大（専門的人材育成）



RPA 操作研修会



RPA シナリオ作成専門研修

災害対応力強化（実地訓練の改善・深化）



資金安定供給訓練



資金供給訓練
（移動店舗・ATM車）

働き方改革・県民の安全安心を実現

II 全庁的な未収金対策の推進

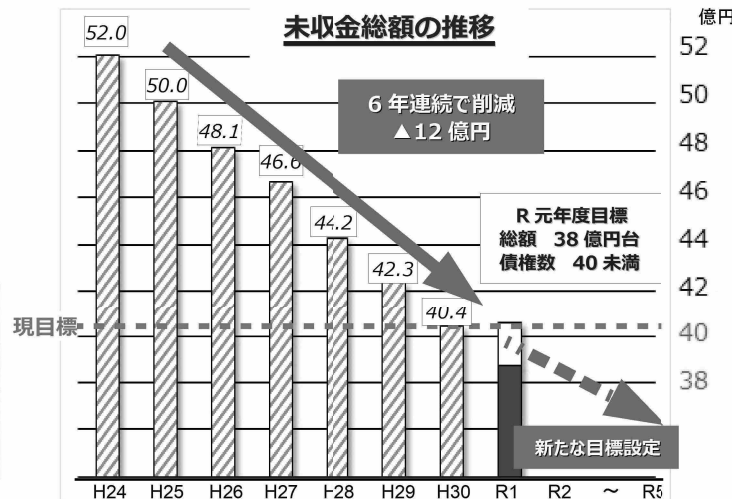
これまでの取組み

- ・ 平成 25 年度から全庁的な未収金対策を推進
 - ・ 重点未収金 9 債権等の取組強化により、現行の未収金削減目標額（40 億円台）を 1 年前倒しで達成
 - ・ 令和元年度末目標を 38 億円台へ
- 6 年間で約 12 億円の削減を達成！**

令和2年度

新たな目標設定により着実に未収金削減

- ・ 全庁一丸となった取組の強化
- ・ 未収金の発生抑制と回収率の向上
- ・ 税外収入の収納手段の拡大・キャッシュ化の推進による収納率及び県民の利便性向上



県民負担の公平性・歳入確保

III 工事検査の効率化と技術継承

これまでの取組み

- ・ 工事検査管理システムによる効率化と評定データ蓄積
 - ・ タブレット端末による現場完結型検査の実践
 - ・ 工夫・要改善事例集を用いた若手への研修会
 - ・ 指導記録、補修記録の蓄積（R1から）
- 工事検査の効率化と技術の継承！**

令和2年度

ベテラン検査員の知見を施工段階から反映

- ・ 各現場における指導内容や補修内容を集約
 - ・ 指導内容等を工種ごとに整理
 - ・ 現場監督員への情報提供
- ⇒ 施工中における品質向上

工種 道路土工

- ・ 現場密度計
- ・ 路床盛土
- ・ ○○○
- ・ ○○○
- ・ ○○○

工種 擁壁工

- ・ 伸縮目地の
- ・ 日平均気温
- ・ ○○○
- ・ ○○○
- ・ ○○○

工種 アスファルト舗装工

- ・ アスファルト温度の測定
- ・ 舗設前に浮き石、ゴミ等を除去
- ・ 舗装継目の位置は適正が
- ・ ○○○
- ・ ○○○



アスファルト敷均し

指導内容を
集約・整理

施工段階
から反映



公共工事の品質向上